

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	女性に対する人権尊重事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	相談者	事業期間	～ 平成28年度
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: _____】		
目的・目標		事業の概要	
相談者の不安や悩みが解消され、相談者が自分自身で解決の方向が決められるようになっています。		女性の不安や悩みを解決に導くため、相談窓口を開設します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談窓口開設日数				単位	日
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	243	243	244	245		
	実績	242	243	244			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	相談件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	620	620	620	780		
	実績	785	776	626			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
相談窓口を244日開設し、626件の相談（来室相談238件、電話相談388件）を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけました。626件のうち、DV相談は100件、外国人からの相談は33件ありました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	相談者の問題解決を図るうえで、非常に有効であります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相談者のニーズに十分対応でき、且つ、多くの市民の相談を受けることができるよう効率性の向上を図る必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		平成23年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は344件ありました。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題となります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		相談窓口の開設、法律相談会の開催	相談窓口の開設、法律相談会の開催	相談窓口の開設、法律相談会の開催	相談窓口の開設、法律相談会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	4,776	4,841	4,720	5,106
事業費 (A)		4,776	4,841	4,720	5,106
執行率 (%)		91.71	94.59	92.06	
内訳	職員 (人)	0.62	0.71	0.71	0.71
	再任用 (人)	0.00	0.05	0.05	0.05
人件費 (B)		5,181	6,035	5,922	5,861
フルコスト (A+B)		9,957	10,876	10,642	10,967

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	相談の質を維持したうえで相談時間を短縮することには限界があるため、現状規模で事業運営にあたりつつ、相談需要に迅速かつ円滑に応じられるよう努めていきます。
課長コメント	増加傾向にある女性相談に対応するための体制づくりをしていく必要がありますが、財政面等で困難な部分は関連各課や関係機関との連携により補っていきます。